

クラブ活動報告

和歌山県庁感謝状授与式

田辺はまゆうロータリークラブ
副会長 山本 佳弘

7月28日、和歌山県庁で令和8年度〔献血運動〕厚生労働大臣表彰状・感謝状並びに知事感謝状贈呈式に参列し和歌山県知事感謝状を会長代理で受け取ってきました。

最近では80～90名以上の献血御協力いただいておりますが、最初の活動時は散々たる結果でした。その献血活動は2010-2011辻年度が最初の活動で一分区IMでの献血活動で、この時も献血バス一日来ていただき受付17名献血者13名と泣きたくなる結果でした。IM参加ロータリアン約300名での結果で、リベンジ活動は2013-2014年菊池年度から現在に至りコロナ禍の2020-2021年度を除き、年1～2回活動で計20回位、初回から数えると15年になります。継続は力なり、ですが会員皆様の財団寄付金、ニコニコ、現地での活動の御陰様で長年継続出来ています。県知事感謝状はゴールではなく新たなスタートと考えて今後の益々御協力お願い致します。

また前回2022-2023寺本年度では和歌山県赤十字血液センター所長感謝状をいただいております。これも皆様の御協力の御陰様です。

献血は簡単で一番難しい活動です。個人個人の小さな勇気と日々の健康管理が必要です。

多くの人に参加して頂けるのは会員皆様の友人知人への声掛けです、今後とも会員皆様の御協力を切にお願いして感謝状授与式の報告とさせていただきます。

